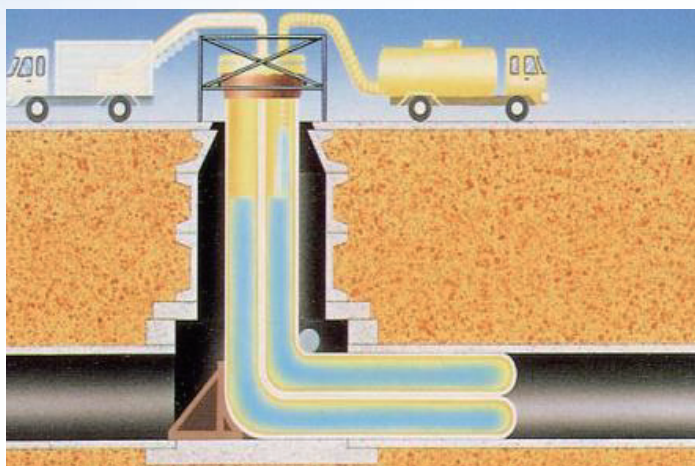


管路更新更生工法

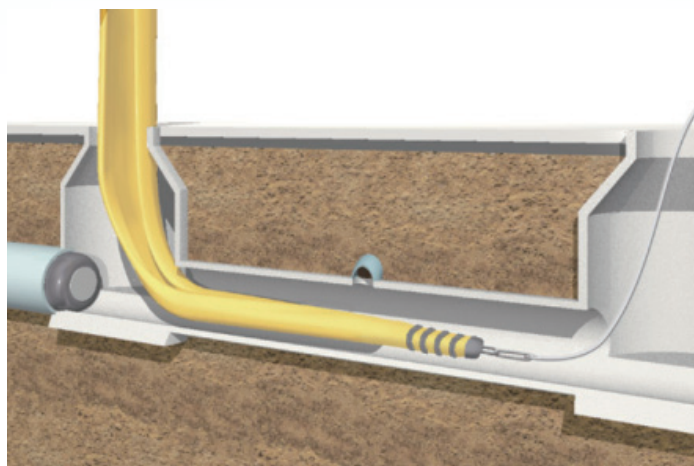
インシチュフォーム工法

インシチュフォーム工法とは、既存の既設管を掘り返さずマンホールや立坑を利用して、既設管内に熱硬化性樹脂を含浸させたライナーバッグを水圧、又は空気圧を利用して反転挿入（反転工法）、若しくは引込み（形成工法）、温水や蒸気を利用して樹脂を硬化させ、既設管内に新しいプラスチックの管路を短期間で構築する非開削工法です。長距離や曲り部のある管路へは反転工法、直線で短い管路へは短時間で更新可能な形成工法と、既設管内への挿入方法、硬化方法、材料を変えることによって事業所内の排水管から工業用水、飲用管路の更新に適用可能です。

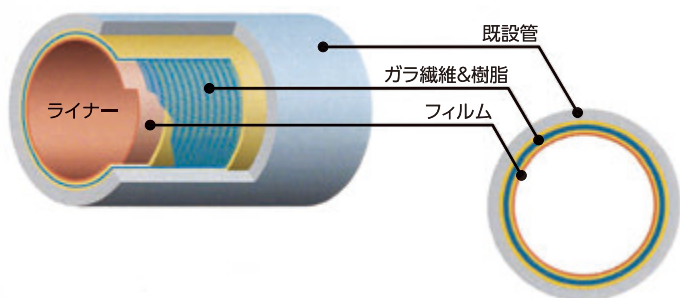
反転工法



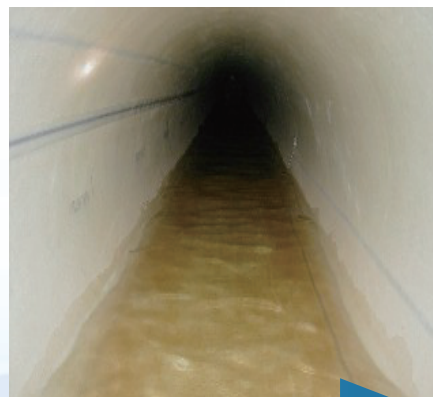
形成工法



● INS-HPL (高内圧型ライナー)



- 特 徴 標準工法の適用に加えて、特に内圧が高く耐荷強度が求められる場合に適用
- 内 圧 1.38MPa (13.8kgf/cm², 200psi)
- 形状・口径 200～1500mm
- 板 厚 5～17mm
- 材 料 フィルム：ポリプロピレン
フェルト：ポリエステルフェルト、
グラスファイバー補強フェルト
含浸樹脂：不飽和ポリエステル樹脂、
ビニルエステル樹脂、
エポキシ樹脂



Before

After